

アイ・オー・ティー

IoTで改革に取り組む企業をサポート

●「IoT(アイ・オー・ティー)」経営相談窓口

最近、「IoT」というワードを見たり聞いたりするようになりました。しかし、「そもそもIoTって?」「何ができるの?」と思っている方も多いのではないのでしょうか。IT技術が進化した今、インターネットの新たな展開を通して、大きな社会変化が起きようとしています。

今回は、IoTがもたらす変化と、これを活用した企業改革をサポートするため、公益財団法人東京都中小企業振興公社(以下、振興公社)が実施するIoT経営相談窓口についてみていきます。

●モノのインターネットIoT

IoTとは、Internet of Things(インターネット・オブ・シングス)の頭文字をとったもので、よく「モノのインターネット」と表現され、パソコンやサーバーなどIT関連機器以外のものをインターネットにつなぐ概念をいいます。

では、モノがインターネットにつながると、どういったことができるようになるのでしょうか。IoTを活用したビジネスでは、①センサーでモノから情報を取得(センシング)②インターネットを経由し「クラウド」にデータを蓄積③クラウドに蓄積したデータを分析④分析結果に応じてモノが作動し、ヒトにフィードバック、というのが基本的な流れとなっています。たとえば、温度や湿度などの情報を分析し、エアコンが最適な状態で作動するというように、モノから得た情報をもとにモノが作動して、ヒトに快適な環境をつくることができます。

●IoTビジネス最大のポイントとは

IoTビジネスにおいて、最も重要なのがヒトに対するフィードバックの部分です。モノから得た情報を利用し、どうフィードバックするか、つまり、「どういう課題を解決するのか」を考えることが不可欠です。

具体例として、スマートフォンで離れた場所から住宅

のカギを開閉できるアプリをみてみると、これを介護の分野に応用した場合、高齢者の外出状況や回数を把握でき、夜間の外出時には介護者に知らせるなど、徘徊対策につなげることができます。

●まずは専門家による無料相談窓口へ

振興公社のIoT経営相談窓口では、こうしたIoTを活用したビジネスについてのアドバイスやサポートを受けることができます(無料・予約不要)。

対象者は、都内に事業所を置く中小企業(個人事業主を含む)で、大企業が実質的に経営に参画していない企業です。窓口では、「IoTと最近よく聞くけど、いったい何?」「IoTを活用した取組み事例はどんな事例があるの?」「会社の課題をIoTで解決できない?」「セキュリティについて心配だがどうしたらいいの?」など、ちょっとした疑問の解消から、IoTを活用した新たな取組みの模索などについて、IoT専門家がマンツーマンでアドバイスします。

受付時間は、木曜日を除く午前9:00~11:30、午後13:00~16:30。相談方法は電話(03-3251-7881)または、来社(東京都中小企業振興公社 総合支援部 総合支援課/千代田区神田佐久間町1-9 東京都産業労働局秋葉原庁舎、最寄り駅はJR「秋葉原」駅中央改札口から徒歩1分など)での相談となります。

また、振興公社ホームページ(<http://www.tokyo-kosha.or.jp/support/shien/iot/soudan.html>)では、各曜日のIoT専門家が紹介されていますので、そちらもご覧ください。なお、相談員の都合で急遽、変更になる場合があります(同ホームページより変更予定をご参照ください)。

【注意事項】予約制ではないため、お待ち頂く場合があります。相談時間は最大1時間、土・日・祝日・年末年始はお休みです。なお、IoT経営相談窓口についてのお問い合わせは、振興公社の総合支援課(03-3251-7881)までお願いします。

東京今昔物語483

「藪入り」は三大閻魔もお休み

江戸時代、1月16日は正月の藪入りの日。町で勤めていた奉公人がお休みをいただき、久しぶりに故郷で家族との時間を過ごし、のんびり羽をのばした日です。古典落語には奉公に出した子を思う親を描いた「藪入り」という有名な話もあり、家族の特別な休日だったことがわかります。また、この日は「閻



魔斎日」(1月16日、7月16日)であり、閻魔大王もお休みの日。太宗寺(新宿)、善養寺(西巢鴨)、華徳院(杉並区松ノ木)の「江戸三大閻魔」をはじめ、閻魔大王を祀る寺は縁日で賑わったそうです。現在も斎日には閻魔像を御開帳する寺が多いので、迫力のあるお姿を拝見しに詣でるのも一興です。